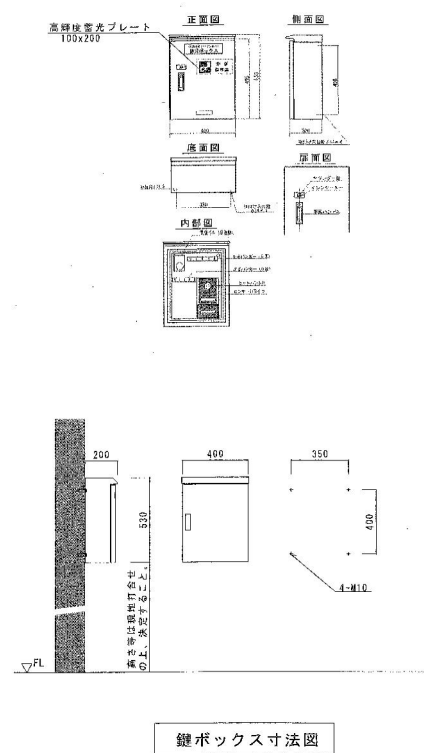


◆事例Ⅳ－１ 地震自動オープン錠付き鍵ボックス

避難所となる施設において、災害時に施設管理者が不在でも鍵ボックスの鍵を利用して避難者が避難できるよう、地震時（震度５弱以上）に自動解錠する装置を設置した鍵ボックスを整備した。

- 工事費（運搬・取付共）：約２５０千円（一面）
- 納入期間：注文後１ヶ月程度



仕 様

	項 目	仕 様	備 考
ボックス本体	型 式	壁掛式屋外型	R C壁面に固定
	材 質	ステンレス	
	鉄板厚さ	箱体：1.2mm 扉：1.5mm 基板2.0mm	
	外形寸法	W400xH500xD200	
	塗 装 色	クリーム色	
	ハンドル	平面ハンドル（防水）	
	キー	シリンダー型	
センサードライブ	型 式	全機械式	
	感震方式	振り子式	
	駆動方式	引きバネ式	牽引力1.75kg
	感知方向	水平全方向	X Y 2 軸
	作動加速度	震度５弱	出荷時に調整
	牽 引 幅	4 5 mm	ワイヤー径1.2mm
	取付場所	室内壁面付	垂直取付
	材 質	主要部 SUS	カバー、錘、リセット金物はSS
	外形寸法	W150xH250xD120	

鍵ボックス寸法図

施 設 名	板野高校南教室棟
所 在 地	板野郡板野町
整備年月	平成２５年１１月

◆事例Ⅳ－２ 備蓄倉庫の設置

県立学校において、空きスペースを利用して非常時に備えて屋内又は屋上に備蓄倉庫を順次設置している。

備蓄倉庫の設置場所については、津波浸水深以上の階に設置するようにしている。備蓄倉庫には避難生活をサポートする資機材（簡易トイレ用テント・簡易トイレ・ポリタンク・リアカー等）及び停電に備えポータブル発電機・投光器・ガソリン携行缶等を備蓄している。

○整備費用：約 3, 0 0 0 千円 （1 校あたり）

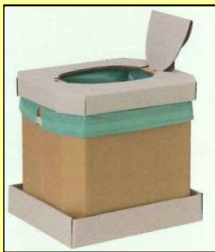


備蓄倉庫設置



備蓄倉庫設置

○避難生活をサポートする資機材



○断水や浄化槽破損に備え、非常用トイレセットを備蓄。

○テント及び便座を5台程度、使い捨てトイレを2000回分備蓄。

○非常用電源の確保(停電時の備え)

自家発電装置
(ポータブル)



電工ドラム



投光器



施設名	県立学校
所在地	徳島市他
整備年月	平成24年度

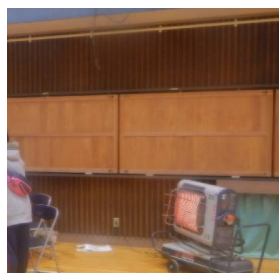
◆事例Ⅳ－３ 非常時用木製間仕切壁の設置

避難所となる屋内運動場において、非常時使用できるよう、壁面に県産木材で作られた木製間仕切壁を設置する工事を行った。

○工事費：約 3, 2 0 0 千円

○間仕切壁の製作期間：約 1. 5 ヶ月

○工事期間：約 2 週間（既存仕上撤去含む）



【格納状況】

常時はこのような状態で収納している。



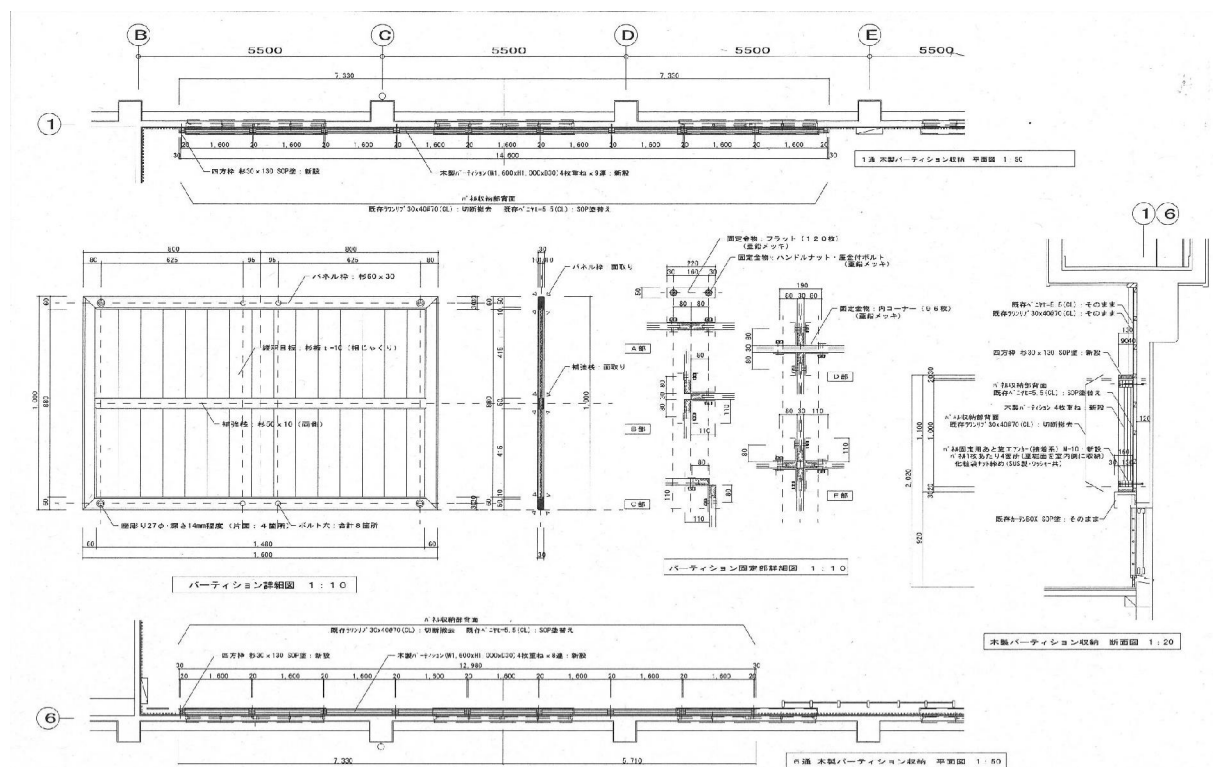
【組み立て状況】

工具不要であり、固定金具で固定するのみで間仕切壁として使用できる。



【近隣住民説明会の実施状況】

使用方法等について近隣住民に説明している。



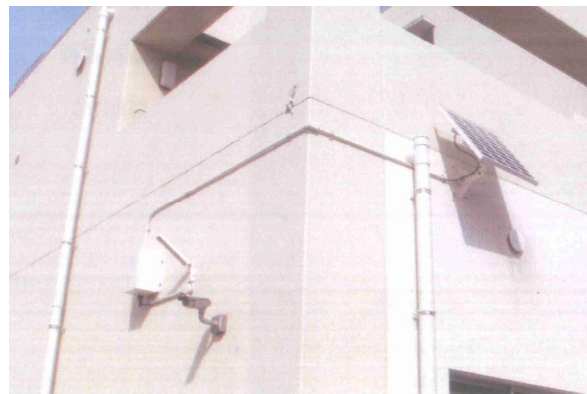
施設名	辻高校屋内運動場
所在地	三好市井川町
整備年月	平成26年2月

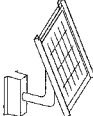
◆事例Ⅳ－４ LED太陽光照明設置工事

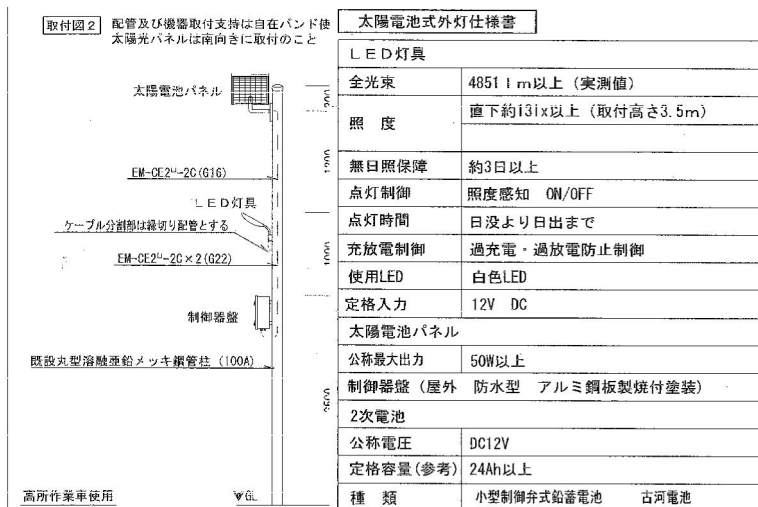
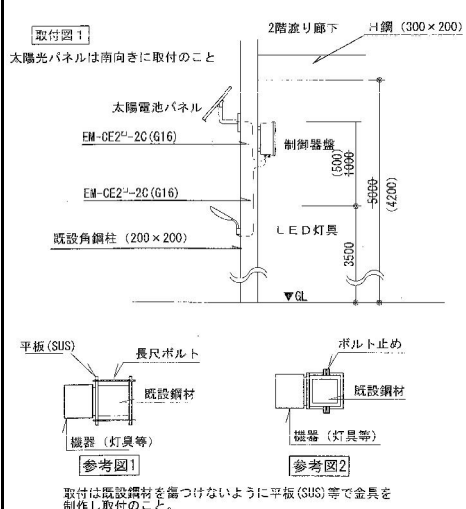
避難所となる県立学校において、災害時の停電に備えて校門から避難所（体育館等）までの避難経路にＬＥＤ太陽光照明器具の設置を行った。１校あたり６～８箇所程度整備している。

○工事費：約 2, 7 0 0 千円（照明器具 7 箇所設置）

○納入期間：注文後1ヶ月程度



太陽電池式外灯 ☐ LED灯具（壁・ポール取付）	☐ 太陽電池パネル	☐ 制御装置
 ※図はポール取付タイプ 接続用リード線を約20cmもうける 各取付箇所により取付金具の形状を変えること	 ※図はポール取付タイプ 接続用リード線を約20cmもうける 各取付箇所により取付金具の形状を変えること	 屋外 防水 各取付箇所により取付金具の形状を変えること



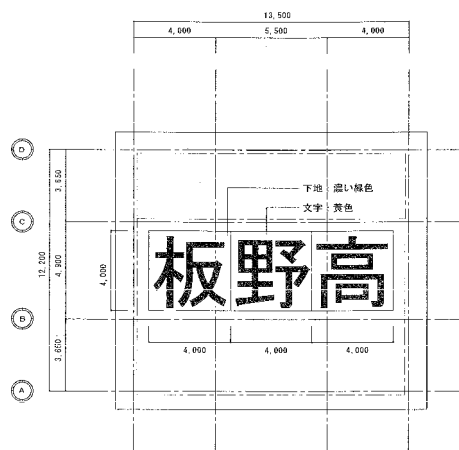
施 設 名	城南高校
所 在 地	徳島市城南町
整備年月	平成25年 2月

◆事例Ⅳ－５ 誘導ヘリサイン

主要な県有施設について、大規模災害時に空路による迅速な救助や救援物資の搬送等ができるよう、ランドマークとなるヘリサインを整備した。

○工事費：約２５０千円

○工事期間：約１週間



誘導ヘリサイン

特記事項

1. 設置場所
屋上の図示した位置に標示する。但し、詳細な位置は現場打合せにより監督員の承諾を得ること。
施工に当たり工事発注担当者、既設建物の管理者及び使用者と施工手順、工程、注意事項について協議し、第三者に対する安全対策を行うこと。
2. 下地処理：水分、油、泥、埃等を除去すること。
3. プライマー工：エポキシ系プライマーを塗布する。
（素地の状況により種類、塗布量を調整する。）
4. 下地工：アクリル樹脂水性塗料２回塗りとする。
5. 養生：標示施工中及び標示完了後、塗料の硬化を確認し、解放する。
6. 標示文字
路面標示用塗料 JIS K 5665 1種 A（常温 水性）を使用すること。
標示内容をレイアウトし、担当者の承諾を受けて製作すること。
文字の書体はゴシック体とすること。



施設名	板野高校南教室棟
所在地	板野郡板野町
整備年月	平成２５年１１月

◆事例Ⅴ-1 津波浸水対策（防水板設置工事）

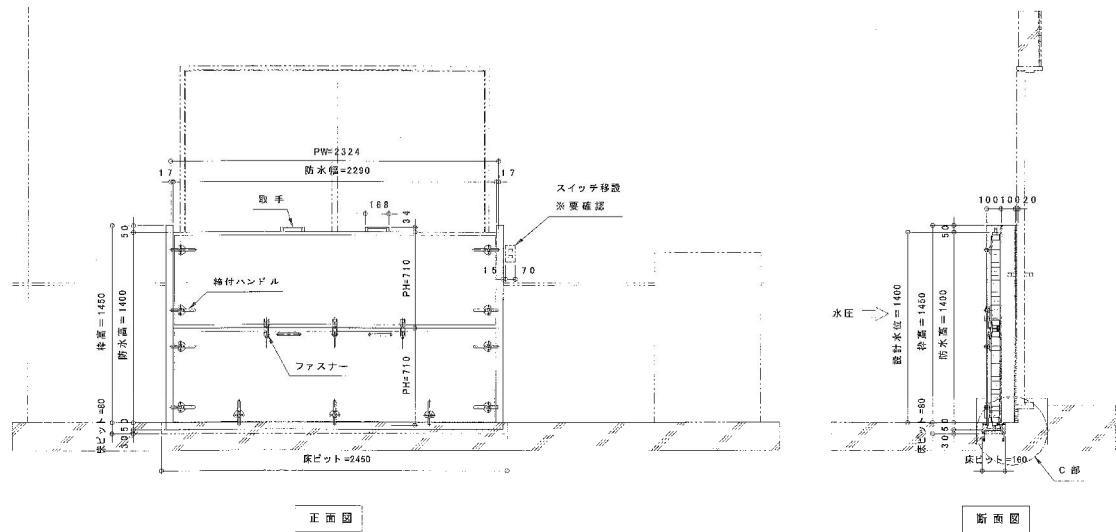
防災拠点施設となる庁舎において、津波浸水対策として津波浸水想定による浸水深以下にある開口部分に防水板の設置工事を行った。

南部総合県民局阿南庁舎においては、空調機械室及び電気機械室の扉に防水板を設置した。

○工事費：約 1, 7 0 0 千円（脱着式 1箇所 W=2,030mm, H=1,400mm）

○製作期間：約 2 ヶ月

○全体工期：約 4 ヶ月



仕様	
形式	脱着式防水板
主要材質	枠：ステンレス、パネル：アルミ
床枠	2分割（現地接合）
床枠カバー	SUS304-CP t4.5
締付方式	締付ハンドルに依る締め付け
防水幅	2290 mm
防水高さ	1400 mm
排水	無し
漏水量	0.02 m ³ /h・m以下（工場出荷時）
収納	収納場所に格納

寸法・重量表		数量
パネル	W2294×H710×D62	1枚約 48kg 2枚
床枠カバー	W790×H43×D96	約 7kg 3本

施設名	南部総合県民局阿南庁舎
所在地	阿南市富岡町
整備年月	平成25年10月

◆事例Ⅴ－２ 津波浸水対策（自家発電設備の屋上設置）

防災拠点となる県有施設において、津波浸水対策として自家発電設備の屋上設置・移設を行っている。

○工事費：約 52,000 千円

○工事期間：約 5 ヶ月



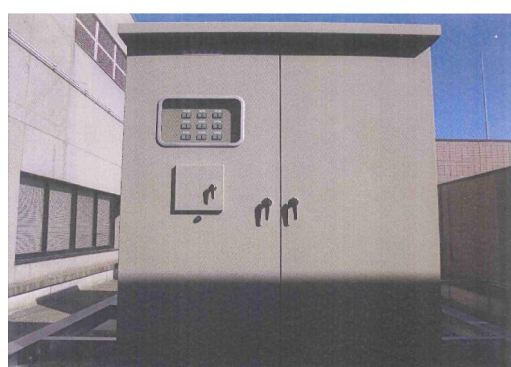
地下オイルタンク 10,000 リットル



自家発電機 (125 KVA)



燃料タンク 490 リットル



切替盤



切替盤

- ・地下オイルタンクは非常用であり、2週間（14日）分を想定し、備蓄している。
- ・地下1階既存受変電設備を残したまま、非常用回路（災害活動上必要な負荷）をこの自家発電設備に接続している。
- ・切替盤には、外部電源車等が接続できる端子（外部アクセスポイント）を設けており、自家発電設備が燃料切れで停止した等の場合においても引続き電源を送ることを可能にしている。

施設名	徳島保健所
所在地	徳島市新蔵町
整備年月	平成25年 3月

◆事例Ⅴ－３ 避難所対策（津波避難ビル整備モデル事業）

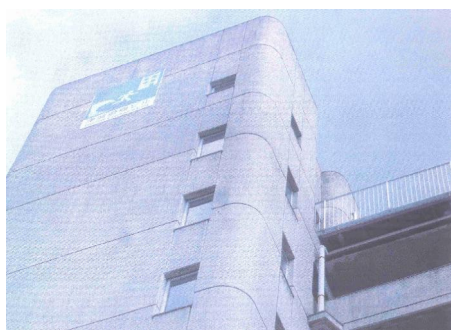
津波避難ビルとしての機能確保のため、津波避難ビルの表示板の設置、海拔表示板の設置、屋上フェンス及び屋上に上がるための階段を設置した。

○工事費：約 7, 0 0 0 千円

○工期：約 3 ヶ月



津波避難ビル整備工事 全景



津波避難ビル表示板の設置



海拔表示板の設置



屋上手摺りの設置
約170m



屋上へ上がるための
階段の設置

施 設 名	県営住宅金沢団地 7 号棟
所 在 地	徳島市金沢
整備年月	平成 2 5 年 9 月